



〒 399-0711 長野県塩尻市大字片丘字南唐沢 6342-4

TEL (0263)53-8802

FAX (0263)51-1290

E-mail: [sogokyoiku-kikaku@pref.nagano.lg.jp](mailto:sogokyoiku-kikaku@pref.nagano.lg.jp)

## 目次

「産業教育MIRAIフェア2025開催のご案内」……………	p.1
「研修講座の様子・ちょこっと研修」……………	p.2

長野県高校生探Qフェスティバル2025との合同開催

## 産業教育MIRAIフェア2025開催のご案内

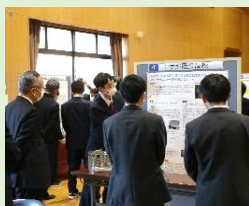
県内の農業・工業・商業・家庭・福祉、そして総合学科の高校生たちが、日頃の学習成果をポスターセッションやワークショップで発表します。さらに、心を込めて作った作品や商品を展示販売します。高校生たちの実践的な学びと創造力を間近で体験するチャンスです！

また、今年も高校生探Qフェスティバルと合同開催となり、県内高校生による探究活動の成果もご覧いただけます。

中学生の皆さんにとっては、これからの進路を考えるきっかけにもピッタリ！高校生の先輩たちの活躍や学びの成果を見て、自分の未来を描いてみませんか？ご家族や友人と一緒に楽しめるイベントですので、ぜひお気軽にお越しください！皆さんのお越しをお待ちしています！

### ポスターセッション・ワークショップ

ポスターセッションやワークショップとは、研究成果などを発表する手段の一つです。発表者が、発表内容を図やグラフなどを用いてまとめたポスターや、制作した作品を参加者の前でプレゼンおよび質疑応答します。



### 展示販売

展示販売とは、県内の専門・総合学科等の高等学校に学ぶ生徒が、実習等において制作した作品、物品、生産物及び実習取扱商品などを販売するものです。心を込めて作った作品や商品が並びます。



未来をつくる高校生の  
の力を見に来よう！

2025年12月14日(日)  
松本市勤労者福祉センター

- ◇ 日程:ポスターセッション・ワークショップ 午後2時00分から午後3時30分まで  
展示販売 午前11時40分から午後1時50分まで
- ◇ 発表内容:① ポスターセッション、ワークショップ ② 展示販売
- ◇ 主催:長野県教育委員会
- ◇ 後援:長野県産業教育振興会



産業教育MIRAIフェアHP

# ちょこっと校内研修

校内研修【育成指標:D③ セルフマネジメント】

## 「学級づくりの根底にある 私の観をみつめてみよう」

ねらい 自分の中で凝り固まった「こうあるべき」をほぐし、同僚の価値観から新たな気づきを得る。

8月4日実施

信大教職大学院連携講座

学級づくり・学校づくり

総合教育センター 企画調査部

### 〈 研修講座の内容・様子 〉

今、学校現場では、学級づくりにおいて「個業」に悩む先生方がいらっしやいます。悩みを語り合ったり、相談し合ったりできる機会がなかなか築けずに困っている現状も振り返りながら、チーム学校を意識した組織づくり、先生方同士の語り合いをもとにした学級づくりについて学び合いました。講師は信州大学特任教授の青木一先生。信州大学教職大学院の学生や現職の先生方と一緒に学び合う研修講座でした。



キーワードは「つながり」。つながりができることで、自然とお互いの学級づくりで大事にしていることや、そこでの葛藤や悩みに触れながら、自身の価値観を変容させ、その後の学級づくりにつなげていくことができます。研修講座では、お互いの価値観に学び合えるような対話の時間を大切にしました。私が学級づくりで無自覚的に大事にしていることは何だろうか。私が子どもを見る目はずっと変わっていないのか。変わったとしたら、それはどんなきっかけでどう変わったのか。受講者のみなさんは「これまでやってきたこと」だけではなく、「大事にしてきた思いや願い」などの内面を交流することで、自身の見方や考え方を新たにしながら、明日からの学級づくりに意欲を高めていました。そして、ちょっとしたおしゃべりや対話によるつながりや学び合いの大切さを改めて感じていました。

#### 【受講者の声】

- やはり子供一人ひとりと対話する、学級で対話することが学級担任として、教師として大事なことだと改めて感じる事ができた。
- 一人で学級づくりをしていくのではなく、同僚や管理職、支援員の先生方に協力してもらって、チームみんなで学級づくりや子供への支援をしていくのだと思った。いろいろな先生と語り合える場づくりを広げていきたい。

### 〈 校内研修の流れ 〉 所要時間 30分

【準備】・別紙ふりかえりシート（次ページ）を各自で事前記入 ・グループ分け（1グループ3名）

- 1 Aさんが学級づくり・子どもとのかかわりで大事にしてきた思いを伝える。（4分）
- 2 聞いていたBさん、Cさんがもっと聞いてみたいことを質問し、発表者の思いを深掘りする。（3分）
- 3 次の人に交代
- 4 シートの一番下の「対話から得た気づき」を記入する。（3分）
- 5 対話から得た気づきをグループで交流する。（5分）

接点の少ない同僚と対話してみることで、自身の価値観が更新されるかもしれません。大切なことは、相手の言葉を否定せず傾聴することです。また、設定されている研修時間により、以下のようなアレンジをすることもできます。事前のシートへの記入を、研修時間内に組み込んでいます。

[15分 ver.] ①シートの1と2を記入（5分） ②お互いに伝え聴き合う（7分） ③シートの3を記入（3分）  
[50分 ver.] ①シートの1と2を記入（10分） ②上記①～⑤を行う（30分） ③明日から取組を構想（10分）

## 「学級づくりの根底にある 私の観をみつめてみよう」 自己ふりかえりシート

- 1 昔の私と今の私を比べ、「学級づくり」や「子供へのかかわり」について変わってきたなと感じること  
(教職経験 5 年以内の先生:「学級づくり」や「子供へのかかわり」で大事にしたいと感じていること)

- 2 なぜ変わったのですか また、変わったきっかけだと感じることはありますか  
(教職経験 5 年以内の先生:なぜそれを大事にしたいと思うのですか)

- 3 グループでの対話から得た気づき